

活動スローガン

「宮木公民館活動」を、
“みんなで 明るく、楽しく、元気よく”

館 報

みやき

発行 宮 木 公 民 館 区
編集 宮 木 公 民 館 文 化 部
印刷 辰 野 プ リ ン ト

一年を顧みて



宮木区区長
宮原正尚

月日が経つのは早いもので、令和6年度も残りわずかとなりました。この間お陰様で各役員の皆様方の深いご理解とご協力を頂き、無事任務を果たすことが出来そうです。有り難う御座います。

昨年は正月早々の能登半島地震から豪雨災害、猛暑での農作物の不作などさまざまなことがあった一年でしたが、当宮木地域では災害もなく過ごせたことは何よりなことでありました。

長年要望しておりました楡沢川砂防堰堤が3月に完成、6月に伊那建設事務所主催で、現地において完成報告会が地元区民の皆さんも参加され開催されました。これからは大雨による河川への土砂、流木等の流れ込みが防げて、越水の心配もなくなり住民が安心して生活が送れることと思っております。

8月の宮木納涼夏祭りは従来の盆から、日にちを少し早め子供達を中心にしたお祭りとして開催しました。天候にも恵まれ、木遣り保存会の皆さんによる木遣りの発声により始まり、昨年を上回る大勢の大人から子供さんにお集まり頂き、夏休みの一夜を賑やかに過ごして頂けたと思います。最後に打ち上げた花火は、間近で見られ迫力があり大変良かったと好評をいただきました。

開催に向けて準備していただいた実行委員会の皆様方大変ご苦労様でした。

10月の文化芸能祭は昨年から同日開催として実施されました。保育園、幼稚園児から、同好会、一般区民、辰高生まで幅広く素晴らしい作品を寄せていただき盛況でした。そば同好会のみなさんによるそばの振る舞いも大変好評でありました。芸能祭では公民館同好会の皆様と辰野高校サークル部の皆さんたちが参加され、日頃の練習の成果を発表され大変感動いたしました。

宮木公民館につきましては、今年度は国事業補助金と町事業補助金を利用し、二階大広間にエアコンを設置。又、大広間と二階和室に設置されていた照明器具をLEDに設置替えしました。これにより今まで以上に快適に施設を利用していただけようになりました。

最後にこの1年、丸山副区長、北原会計、事務の吉川書記、そして各役員さん、区民の皆様のご支援ご協力をいただきましたことに感謝と御礼を申し上げます。来年度も平穏無事な宮木区でありますよう祈念しまして挨拶の言葉といたします。

公民館活動を顧みて



宮木公民館分館長
武井秀幸

「三つの大切にしたいこと」

はじめに、本年度の宮木公民館活動について区民の皆さんのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。お陰様で予定した行事等を無事終えることができました。初めて実施した講座「ニュースポーツを楽しもう」の参加者は10名ほどと少なかったのですが、ご高齢の女性の方が「お陰様で、また、これからもがんばることができそうです。」とおっしゃってお帰りになったことが印象に残っています。

今年は、研修会や講演会に参加させていただく機会をいただき、他の公民館の様子や実践事例にふれたり公民館の存在意義を学んだりする中で宮木公民館には三つ、大切にしたいことがあることに気づきました。

一つ目は、多様な同好会活動です。宮木公民館には12の同好会があり全部で約190名の方が同好会活動に参加しています。これだけの数の同好会を有している分館は少ないと思います。

区誌を読む会では、毎年、文化芸能祭で宮木の歴史について写真や図入りの展示物を見ながら説明してくれています。書道同好会、写真同好会、短歌同好会の作品のレベルの高さには感心します。ヨガ同好会は、毎週、ヨガに取り組んでいます。そば打ち同好会は、毎月の活動で腕を磨き、文化芸能祭では250食の美味しい十割そばを提供してくれました。ゴルフ同好会は72名の会員を有します。その他の同好会でも主体的に学び健康増進に取り組んでいました。ふるさと歴史探訪、しめ飾り講習会など、公民館は生涯学習の場ですが、同好会は年間を通して学ぶ大切な場となっています。

二つ目は、宮木区民球技大会です。今年は約240名が選手としてエントリーされていました。雨天のためトリムバレーボールのみの実施となりましたが、選手114名が参加したトリムバレーボール会場の体育館は熱気に包まれていました。みん

なが楽しくプレーできるように作られたローカルルールがあり、それを大切に守っていることで男女関係なく競技に参加でき、毎年、盛り上がりを見せています。区民球技大会は、多くの方が参加することで健康増進を図り、区民のつながりを生む大切な行事です。さらに幅広い年齢層の区民の皆さんが参加できるようニュースポーツを競技種目に加えられるか検討が始まっています。

三つ目は、文化芸能祭における幅広い年齢層間での文化交流とつながりです。文化芸能祭では、区民有志、同好会の展示に加えて、保育園・幼稚園の園児、小中学校児童・生徒の作品が数多く展示されました。大広間では、日本舞踊、手話ダンス、中学生グループのダンス、音楽同好会の素晴らしいステージ発表があり、日頃の学習や文化活動が披露されました。さらに地元辰野高校の書道部、美術部作品の展示があり、ダンス部、音楽部、吹奏楽部のエネルギッシュなステージ発表は大いに盛り上がりました。文化芸能祭は、区民の皆さんが集い交流する機会でもあります。これだけ幅広い年齢層の交流があることは特筆に値するのではないのでしょうか。この文化交流とつながりをこれからも大切にしていきたいものです。

現在、少子高齢化といった社会情勢の中で改めて公民館の存在意義が問われています。大切に守り受け継いでいって欲しいことはありますが、変えていかなければいけないこともあります。本年度は、公民館委員の方のご負担をできるだけ軽減するよう行事を精選し会議の回数を減らしましたが、多くの女性委員・役員の活躍、より多くの区民が集える行事の工夫といった課題も残っています。今後さらに宮木公民館が、学び、集い、つながる場となるよう願っています。

宮木文化芸能祭

10月27日(日)

文化芸能祭を終えて

社会部長 河野 健太郎

10月27日に8時半からの開会式と太鼓演奏を皮切りに、宮木区の文化芸能祭を開催しました。納涼夏祭りを終えたあとより準備を進め、たくさんの方々のご協力のもと盛況に終えることができました。

文化祭は保育園や幼稚園の小さい子の作品から老若男女を合わせた幅広い作品を展示しました。普段は見られない、絵画や工芸などの多才な作品を観ることができ、自分にも才能があればいいなと刺激を受けつつ、中学時代に作った家の表札があったことを思い出し出展しました。

芸能祭はエネルギッシュなダンスや日本舞踊、合唱や合奏など多彩な演目を、多くの人が鑑賞しました。魅了する一芸はない自分ですが、芸能祭を滞りなく進行するために、公民館の皆様と運営に“つとめ”（務め・努め）しました。

“芸術の秋”に続いて“食欲の秋”として、そば打ち同好会の打ち立ての新鮮な蕎麦もおいしくいただきました。

演じる人、観る人があつての文化芸能祭をうまく支えることができたと思います。





日本舞踊



手話ダンス



ダンスサークル エース



喜楽倶楽部



辰野高校合唱部



辰野高校 ダンス部



辰野高校吹奏楽部



ニュースポーツを楽しもう

11月9日(土)

「ニュースポーツを楽しもう」を終えて

体育部長 松澤達哉

令和6年11月9日(土)に、宮木公民館行事としては初めての試みで、「ニュースポーツを楽しもう」を開催しました。

誰もが楽しめるニュースポーツの体験を通じて、心身の健康増進と交流を図る事を目的として、モルック、ポッチャ、ビーンボーリング、囲碁ボール、ガラッキーの5種目を、スポーツ推進委員の方々から教えていただきながら実施しました。初の試みという事もあり参加者こそ少なかったものの、参加していただいた区民の方、スポーツ推進委員の方、そして公民館役員も一緒になり、普段は機会の無いニュースポーツを楽しむ事が出来ました。参加者が少なかった事は残念でしたが、来年度以降も継続して実施し、多くの宮木区民の方々と一緒に楽しめる行事にしていきたいと思います。

ガラッキー



ポッチャ



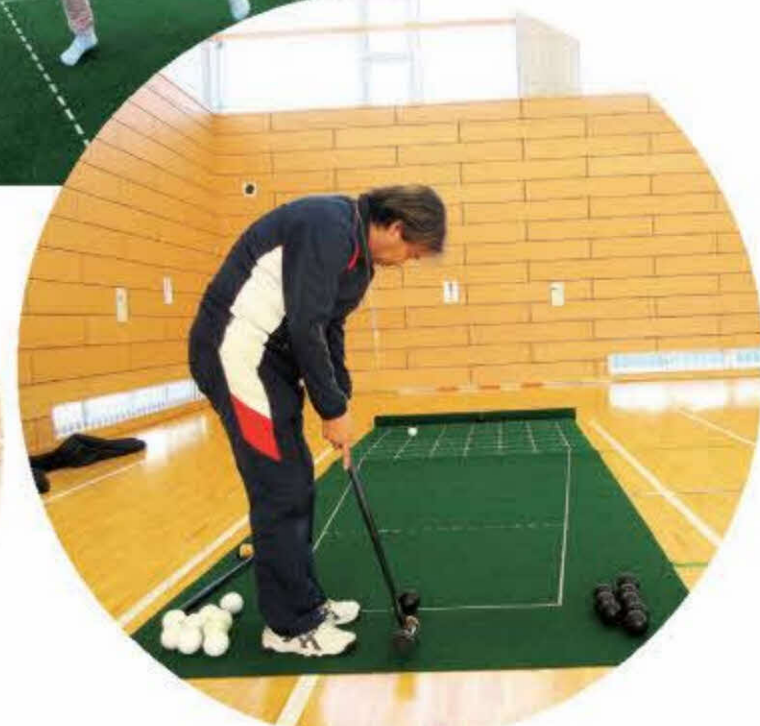
ビーンボウリング



モルック



囲碁ボール



しめ飾り講習会

12月15日(日)

副主事 瀧 川 立 也

1年間の公民館行事を締めくくる「しめ飾り講習会」が12月15日(日)に開催されました。前分館長の小松千明さん(元町)を先生にお迎えし、分かり易い説明とご指導のもと、参加された皆さんは、それぞれ悪戦苦闘しながらも、真剣に、そして楽しい雰囲気の中で一生懸命に藁と格闘し、個性?のある、素敵なしめ飾りを作っていました。

恥ずかしながら私は初めての参加でしたが、初めての方、ベテランの方、親子で参加された方など、今回の参加者は総勢100名にも達する盛況な講習会で、この講座の人気の高さを感じました。きっとこの手作りのしめ飾りは、それぞれのご家庭の玄関に飾られ、よい年を迎えられたことと思います。

小松先生をはじめ、参加された区民の皆様、藁すき準備から当日の片付けに至るまでご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

何でも買えば手に入る時代ですが、しめ飾りを自分たちの手でつくる、という伝統や技術がいつまでも守られ続けていって欲しいと感じた講習会でした。



令和6年度 同好会この1年

★宮木写真同好会 代表 垣内 彰

総 会：年間計画 策定3月2日

作品展：宮木郵便局4月8日～4月26日：かたくりの里4月5日～（2025）4月7日（予定）

宮木郵便局9月2日～9月27日：辰野病院4月1日～10月1日：JA辰野支所11月1日～30日

たつのパークホテル2月1日～29日

撮影会：4月20日 春の撮影会、11月2日 秋の撮影会＝雨天中止

例 会：6月1日：公民館（2-1）、8月3日例会及び暑気払い、10月5日公民館（2-1）

12月14日 例会及び忘年会、2月8日 例会及び新年会

感 想：日程変更が多発した1年だった。

会員の高齢化による退会者が3名となったものの、新入会員1名を確保できたのは良かった。

★ヨーガ同好会 代表 垣内 和子

仲間と共に1年間休む事なく続けることが出来ました。

練習日は、毎週水曜日13:30～14:30まで大広間で、ストレッチヨガです。楽しく身体に良い事してみませんか？

是非一度、見学にお出掛け下さい。お待ちしております。

★大正琴の会 代表 大井田 佳子

今年度も昨年同様、年間を通して毎月第1・第3火曜日（13:00～15:00）に活動しました。

毎回一曲につき3回、5曲の合奏練習を行いました。

練習開始までと、途中の休憩時間には、色々楽しい話でいつも盛り上がりました。

8月の末にはテレビ取材を受け、9月始めの2週間、LCVで活動の様子を放映していただいたことも良い思い出となりました。

★区誌を読む会 代表 原 尚

本年度は主に「村の生活」として年中行事や出産から葬儀にいたるまでのしきたりなどの、先人達の日常生活について読み込んだ。これらの中には現在は行なわれていない行事や忘れ去られたしきたりなどがあり、時代の移り変わりを感じる。

文化祭では、旧家に眠っていた1枚の写真から、宮木諏訪神社の玉垣、拝殿の変遷を考察し、境内にある今は存在しない、明治時代初頭の小学校の勉学の間であった建物を写真掲示した。

★ソバ打ち同好会 代表 赤羽 龍司

現在20数名が所属し、月1回、第2土曜日夕方6:00からソバ打ちの技術向上と、親睦を図っています。

文化祭において、ソバ20Kgを提供し好評を得ました。

毎月のソバ会へのスポットでの参加及び同好会への入会を待っています。是非皆様もソバ打ちをしてみませんか。

（直接ソバ打ち会へ）

★書道同好会 代表 清水 由美子

辰野町宮木の有志でつくる同好会です。

瀧川先生に御指導を頂き、楽しく学んでおります。古典を題材に草書、楷書、行書等の他、テキストを利用し、月2回第1、第3月曜日の午後1時半より3時までです。

年に2回、秋の宮木文化祭と1月の宮木郵便局の展示で成果を披露しています。

★喜楽倶楽部 代表 長 島 功

「笑う門には福来る」。

「歌う門には。」・・・・・・

さて、歌う門には皆さん何を想像しますか？人と歌い笑い、声を出す。童謡、唱歌。わらべ歌。昭和歌謡に演歌。と続いてポップホップにレゲエ、R&Bにロックにフォーク。

様々に歌が歌い継がれて参りました。人の数だけ、好みの歌があるはず。そんな沢山の歌の中から、時代を超えて継がれてきた歌、一緒に歌いませんか？

★健康マージャン同好会 代表 佐藤 高彦

会員数は22名ですが、出席者は16名前後です。例会は毎月第1・第3月曜日、午後1時～4時まで開催、冬季間12月から3月は毎週月曜日開催しております。チー・ポン・リーチ・満貫と和気あいあいと行われております。

昨今都会では小学生雀士も増えてきており、大きなブームになっているようです。ご家族で麻雀いかがですか、その為の練習にお出かけください。

★ゴルフ同好会

代表 川上 明

R6年度活動報告

5月18日(土) 24人参加 場所 諏訪レイクヒルカントリークラブ
 9月10日(火) 22人参加 場所 蓼科カントリークラブ
 9月18日(水) 23人参加 場所 諏訪レイクヒルカントリークラブ
 R7年度も2回開催予定です。

★宮木公友会

代表 大坪 智

本年度は、通常通りの年として活動していく予定でございましたが、例年以上に時間を作る事が出来ず、ほぼ何も参加等出来ずに終えてしまいました。

来年度に関しましては、一時休部の方向でおります。ですが、御柱祭に向けた取り組みは今後とも継続していきます、同好会の方は時期を見て再開をしたいと考えております。今まで同好会として活動していく上で、公民館含め区民の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げ、再開の際は又よろしくお願い致します。

★ジョギング研究会ルッチョラ 代表 井上 武明

ジョギング研究会は発見したN公理(以下N)の研究において現在Nの形

1° a1は存在しようとする

1° anは存在しようとする

とソリトン理論解の形のアナロジーに注目しています。N(両立系)は日本国憲法の原則①基本的人権の尊重②国民主権③平和主義そして民主制と同値です。国際社会における普遍的価値観とも同値です。Nは自然権の自然な変形で自然法の拠り所です。これら地上の法はNを介し宇宙論と結びつきます。Nは愛の自然な定義になっていて黄金律「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」が導かれます。研究会の“釋”に位置するNは前世代から次世代へと繰り返し中継されると予想されます。実存a1とan-1の間での相互の理解という約束(法)またanとNの間のゆるやかな束縛(法)の極限ではアスファルトの継ぎ目も愛といえます。ジョギング研究会はこの道の彼方に向かってONTHEROADジョギング、ウォーキングしていきます。タフでなければ生きていけない。“健康第一”会員募集中

★短歌研究会同人誌ほたる

代表 井上 武明

短歌研究会ではスマホグループLINEを用いたLINE歌会を随時開催しています。メンバー自作短歌・俳句にかぎらず歌人・俳人の作品もLINEにピックアップし観賞しています。「NHK短歌」「ダ・ヴィンチ短歌ください」「あなたとよむ短歌」「フリーペーパーうたらば」などへの投稿「若山牧水青春短歌大会」「おしごと小町短歌大賞」「歌会始の儀」などへの参加「角川短歌賞」「短歌研究新人賞」への挑戦を行っています。

嬉しさや春の坂道高遠のそこ曲がってと助手席のきみ(NHK短歌入選 栗木京子選)
 宮木区文化祭においてはメンバーの作品を“同人誌ほたる”として発表します。「なろう」にてラノベも連載中。優しくなければ生きていく価値はない。“健康第一”会員募集中

1年間をふり返って

令和6年 5月1日 館報157号発行
 6月2日 区民親睦球技大会
 7月7日 ふるさと歴史探訪
 8月10日 宮木納涼夏祭り
 10月1日 館報158号発行
 10月27日 文化芸能祭
 11月9日 ニュースポーツを楽しもう
 12月15日 しめ飾り講習会
 令和7年 3月1日 館報159号発行

宮木区ホームページ

<http://miyaki.sakura.ne.jp/>

区内の行事予定や公民館の
 行事、館報のバックナンバー
 等も掲載しています。
 QRコードからも是非!



編 集 後 記

本年度も、多くの区民の皆様に公民館行事へご参加、またご理解とご協力を賜り全ての公民館行事が無事に終わることができました。誠にありがとうございました。公民館行事を通じて区民の皆様の沢山の笑顔に出会えることができ、大変嬉しく思います。

今後も、区民の皆様が公民館行事へ安心して楽しく参加できますよう公民館役員一同努めて参ります。

一年間、ありがとうございました。

宮木の人口

(令和7年2月1日現在)

人口 3,572人

男 1,711人

女 1,861人

世帯 1,466戸